

年間授業計画

足立工科 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 4 組

教科担当者： (1組：大久保) (2組：大久保) (3組：岡戸) (4組：岡戸)

使用教科書： (高等学校 新地理総合〔帝国書院〕 標準高等地図〔帝国書院〕)

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 地理総合 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|---|--|
| 世界の生活文化の多様性や、防災、地球や地球的課題への取り組みなどを理解しているとともに、地図やGISなどを用いて諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけている。 | 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、相互依存作用などに着目しつつ概念などを活用し、多角的、多面的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。 | 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して態度される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについて自覚などを深める。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 | |
|---|--|--|--|---|---|----------|----|
| 1 学 期 | A 地図と地理情報システム 【知識・技能】 日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 | ・指導事項 ①緯度・経度 ②時差 ③地球儀と地図 ④地理情報システム (GIS) ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 Teams、GoogleEarthなど | 【知識・技能】 日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | B 結び付きを深める現代世界 【知識・技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考・判断・表現】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 | ・指導事項 ①国境・国家 ②日本の位置と領域 ③国際関係(国連など) ④貿易 ⑤交通網 ⑥通信網 ⑦観光 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 Teams、GoogleEarthなど | 【知識・技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 【思考・判断・表現】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 | |
| C 生活文化の多様性と国際理解 【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 | ・指導事項 ①世界の地形 ②世界の気候 ③世界の言語・宗教 ④歴史的背景と生活 ⑤世界の産業 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 Teams、GoogleEarthなど | 【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 20 | |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 | |

